

令和3年度 下諏訪町公民館

一下諏訪と学ぶ

町民大学

- ◇対象者：一般
- ◇定員：50人程度
- ◇時間：午後1時30分から3時
- ◇場所：下諏訪総合文化センター小ホール
- ◇受講料：1講座100円（当日受付）



No.	講座名・日時	講師（敬称略）
第1回	「諏訪湖の自然環境と生き物」 5月23日（日）13：30～15：00	長野県水産試験場諏訪支場 田代誠也
第2回	「さあ御柱だ 楽しもう 歴史と楽しさを木遣りと共に」 7月18日（日）13：30～15：00	下諏訪町観光案内所長 小松直人
第3回	「世界の柱立て祭」 8月8日（日）13：30～15：00	一般社団法人大昔調査会代表理事 諏訪市文化財専門審議会委員 高見俊樹
第4回	「フリークリエイターが 御柱から見た未来」 9月12日（日）13：30～15：00	スワニズム編集長 NPO 法人 jomonism 理事 石埜穂高
第5回	「地学的にみた『綿の湯伝説』」 10月31日（日）13：30～15：00	宿場街道資料館 諏訪湖博物館専門研究員 小口徹

☆ 問い合わせ： 下諏訪町公民館 TEL. 28-0002

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、講座内容の変更および中止となる可能性があります。



5月23日(日) 「諏訪湖の自然環境と生き物」

<田代 誠也>

諏訪湖周辺には多くの方が住んでいます。その人間活動によって諏訪湖は一度環境が悪化しましたが、諏訪湖に関係する方々の尽力で諏訪湖は美しい姿に再生しつつあります。一方で、湖の中を覗いてみると、以前よりワカサギやテナガエビ等の漁獲量が減少しているようです。その謎を探ってみます。

7月18日(日) 「さあ御柱だ楽しもう 歴史と楽しさを木遣りと共に」

<小松 直人>

来年 ^{みすのえとら}壬寅年、天下の大祭御柱祭です。諏訪の人々は御柱と共に歩んでいます。様々な神事や行事、それに独特な生活習慣もあります。私は寅年に生まれ、7歳より御柱に参加し御柱になくってはならない木遣りを奉仕させていただきました。多くの出会いやドラマと思い出いっぱい御柱人生は私の宝物です。御柱の流れに沿って木遣りも披露しながら歴史と楽しさを伝えます。

8月8日(日) 「世界の柱立て祭」

<高見 俊樹>

諏訪の「おんばしら」は原始性が感じられる不思議なお祭りです。しかし世界には実に多様な「柱立て祭」が存在します。また、日本列島各地の古い時代にも、「柱立て祭」的なものが多くあったことが分かってきました。次の御柱祭が間近に迫った今日、民族映像や写真を見ながら、広い視野から柱立て祭の不思議に迫ります、

9月12日(日) 「フリークリエイターが御柱から見た未来」 <石 埜 穂 高>

本物のグローバルカンパニーは凄い。でも、それでいいの？今の日本の大企業はオソイ。でも、いいんじゃないの？フリーのクリエイターとしてさまざまな企業や役所と仕事して見えてきたことは、御柱に象徴される諏訪力が、これからの世界にとってどれだけ大切かということです。未来の見方のヒントとして聞いてください。

10月31日(日) 「地学的に見た『綿の湯伝説』」

<小 口 徹>

下諏訪の方であればだれでもご存知の『綿の湯伝説』。ストーリーの細部にいくつかのパターンがありますが、下社の女神さまが上社から下社へ向かう途中、綿に含んだ化粧水がぽたぽたと垂れ、滴が落ちた場所に温泉が湧き、最後に綿を置いた場所が「綿の湯」だという大筋は共通しています。

講座では、この伝説を地学的に読み解きます。